

IIJ、IPv6実験サービスを拡大

2000年3月1日

株式会社インターネットイニシアティブ(以下IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 幸一)は、2000年3月より、IPv6(Internet Protocol version 6)接続の実験サービス対象をIIJ T1スタンダードサービスにも拡大すると同時に、「sTLA」を用いたIPv6アドレスの割り当てを開始いたします。また、sTLAの有用性を検証し、またその運用ノウハウを蓄積していくため、本実験サービスの提供期間を2001年3月31日まで延長いたします。

IPv6実験サービスは1999年8月、専用線サービス(IIJインターネットサービスとIIJエコノミー)を対象に国内で初めて導入されました。サービス開始以来、多くの企業、大学、政府機関などからIPv6関連の開発・運用実験の目的で利用されています。本サービス提供の拡大に伴い、より広範囲のお客様に、次世代インターネット・プロトコルであるIPv6を積極的にご利用いただける環境を提供いたします。

尚、現在、商用インターネットサービスとしてIPv6を提供している企業は、世界で弊社を含め3社のみです。

IIJは、今後もより多くの利用者に最高のネットワーク環境を提供し、インターネットの品質向上と、更なる普及に努力して参ります。

以上
